

関西大学 入試制度（文系学部）のポイント

2021/05/29

1. 「全学日程」の導入

- ・今春（2021年）入試から導入。
- ・昨年までは2月1日～6日までを「学部個別日程」2月7・8日を「全学部日程」と分けていたが、今春から2月1日～3日までを「全学日程1」、2月5日～7日までを「全学日程2」として設定。「全学日程」では、文系学部はすべての日に出願可能になった。

例) 関西大学社会学部の受験機会

日程	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
2020	○					○	○	○
2021	○	○	○		○	○	○	

関西大学のべ志願者数と実志願者数の推移

年度	のべ志願者数	実志願者数	併願数
2019年度	93,452	32,665	2.86
2020年度	87,625	30,234	2.90
2021年度	79,526	26,078	3.05

2. 英語外部試験利用方式の拡大

・英語外部検定試験の基準を出願資格にして、関大の英語の試験は実施せず、国語（150点）選択教科（100点）の合計250点で合否を判定する方式。

- ・法学部、文学部、経済学部、政策創造学部、人間健康学部、社会安全学部はCEFRのB1（英検2級）以上で出願可能

3. 同一配点方式の拡大

・英語150点、国語150点、選択教科150点の合計450点で合否判定する方式。法学部、文学部、経済学部、社会学部、政策創造学部、人間健康学部で導入。

（通常は英語200点、国語150点、選択教科100点の配点）